

JAM Update: 06 May

Assessment:

バグダッド日誌（5月6日）

○ [redacted] Farewell Party

コアリション・オペレーション部長 [redacted] (コアリションにおける私の直接の上司)は、5月12日帰国予定で、帰国後はイタリア空軍エア・オペレーション・コマンドの幕僚長として赴任されるそうである。

[redacted] は、大変日本最良でイラク派遣間にサマーワも訪問されている。我々日本隊に対して、日頃から気さくに声をかけてくださり、准将の執務室でよくイタリアン・コーヒーをご馳走してくれた。挨拶は私から「ボンジョルノー、サー」と挨拶すると「オハヨー、ジャパニーズ・フレンド」と答えてくれ、時折私を「ボンジョルノー・ボーイ」と呼んだりする。先日の日本大使館 足木公使がキャンプ・ヴィクトリー訪問した際も、直接コアリション・オペレーション部の幕僚にアレンジメントを指示し、また「日頃の日本隊の活躍に対して御礼を言いたい。」とのことで、懇談できる時間を設けて欲しいと指示された。このように准将にはお世話になりっぱなしだった。

昨日 [redacted] のFarewell Partyが実施され26カ国の連絡幹部が集まり、將軍の任務完遂を祝福し、別れを惜しんだ。パーティーには、ワインの代わりにグレープ・ジュース、シャンパンの代わりにシードル、ビールではなくノンアルコール・ビールでの宴だが、まるでアルコールが入ったように盛り上がった。

Farewell Giftでは、各国いろいろな記念品を準備しており、米・英国・豪等多数の国はブランク(盾)、韓国はMND (NE)師団長からツー・スターのエンブレムのついたコーヒー・カップ、最も目を引いたのはヨルダンが「アラビアン模擬刀」を贈っていた。各国がかなり趣向を凝らした贈り物を準備しており、我ながら自らの準備不足を痛感した。日本隊は派遣部隊の記念コインを「気は心だ。」と堂々とお渡しし、喜んで頂いたが、今後は何か工夫しようと思う。

[redacted] の後任には、イタリア陸軍准将が赴任されるそうである。また新たな体制で「日々に新たなり」の気持ちで頑張りたい。